

# 4月の県内景況は、2月の大雪の混乱からの回復及び増税前の駆け込み需要が収束。横ばいムード漂う。

情報連絡員による平成26年4月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は26.7%（前月比-8.3）となっており、「横這い」は33.3%（同+0.0）、「低調」とするところが40.0%（同-8.3）、業界全体の「景況感DI」は-13.3（同-16.6）となっています。

## 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」の項目が前月と比較して減少しています。

## 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、鉄工機械製造業、その他の製造業、建設業は「快晴」または「晴れ」、食料品製造業、繊維製品製造業、木材木製品製造業、卸売業、サービス業は「薄曇り」または「曇り」となっています。

◇来月の見通しは、やや悪化、悪化の見込みは、26.7%（前月比-8.3）と減少しております。好転、やや好転の見込みとの回答が15.0%（前月比-5.0）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答9件）（製造業6、非製造業3）。また、変わらないが、58.3%（前月比+13.3）と増加しております。

平成26年4月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-14.29	-14.29	42.86	57.14	0.00	-14.29	0.00	0.00	14.29	0.00	28.57	-14.29
繊維製品製造	33.33	66.67	0.00	0.00	33.33	33.33	0.00	33.33	0.00	-33.33	0.00	0.00
木材木製品製造	-50.00	-25.00	0.00	25.00	-25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.00	-25.00	-25.00
鉄工機械製造	-20.00	0.00	0.00	20.00	0.00	-20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	40.00
その他の製造	-42.86	0.00	28.57	42.86	14.29	0.00	0.00	-14.29	0.00	0.00	14.29	28.57
卸売業	-75.00	-25.00	-25.00	0.00	-50.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-50.00	-25.00
小売業	-55.56	-66.67	44.44	44.44	-11.11	-33.33	-11.11	0.00	-11.11	-11.11	-22.22	-55.56
商店街	-50.00	-50.00	0.00	0.00	-50.00	-50.00	-16.67	0.00	0.00	0.00	-33.33	-33.33
サービス業	-28.57	0.00	42.86	71.43	-28.57	0.00	-14.29	0.00	0.00	42.86	14.29	0.00
建設業	-40.00	20.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	40.00	0.00	40.00
運輸業	-100.00	0.00	0.00	33.33	-100.00	-66.67	-100.00	-66.67	0.00	-100.00	-66.67	-33.33

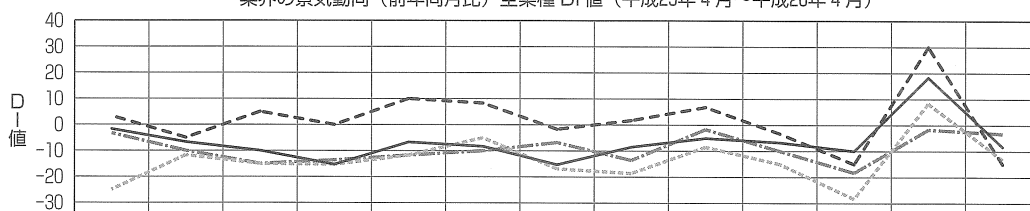
## 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値(D-I値)をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

### D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成25年4月～平成26年4月）



— 業界の景況  
- - - 売上高  
..... 収益状況  
- · - · 資金繰り

	平成25年4月	平成25年5月	平成25年6月	平成25年7月	平成25年8月	平成25年9月	平成25年10月	平成25年11月	平成25年12月	平成26年1月	平成26年2月	平成26年3月	平成26年4月
業界の景況	-1.7	-6.7	-10.0	-15.3	-6.7	-8.3	-5.1	-8.5	-5.1	-6.7	-10.0	18.3	-8.3
売上高	3.3	-5.0	5.0	0.0	10.0	8.3	-1.7	1.7	6.8	-3.3	-15.0	30.0	-15.0
収益状況	-25.0	-11.7	-15.0	-15.3	-11.7	-5.0	-16.9	-18.6	-8.5	-15.0	-28.3	8.3	-13.3
資金繰り	-3.3	-10.0	-15.0	-13.6	-11.7	-10.0	-6.8	-13.6	-1.7	-10.0	-18.3	-1.7	-3.3

## 食料品製造業

### <漬物>

3月は消費税値上げ前ということで売上が若干よかったため、反動で4月がマイナスになった。しかし思ったほどの落ち込みがなく、今回の消費税アップはスムーズに回復すると思われる。

### <パン>

消費税の影響をあまり感じない。

### <味噌醤油>

主原料の大豆、小麦が高騰している。特に国産大豆が高騰しており、製造コストの上昇や出荷量の低迷が続いている。組合員の経営は厳しい状況。消費税増税は原料高騰に拍車をかけ、駆け込み需要も少なく、増税は味噌醤油製造の中小零細企業にとっては重くのしかかっている。

### <菓子>

消費税増税と原材料の仕入れコストの上昇で厳しい経営状況にある。4月に商品の値上げをしたところも多く、顧客の消費落ち込みも懸念されたが、大きく影響はしなかった。菓子原料のほとんどは、輸入品のため円安は不安。アーモンド、ナッツ類は30~40%の値上げとなっている。

### <乾麺>

ウクライナ問題で小麦相場が上がりだした。5ドル台まで下がった価格が7ドルを超えた。為替は1ドル102円くらいで落ち着いている。しかし秋には値上げの可能性が大きい。世界的な需給関係において、小麦が上昇する要因は少ないが、世界第三位の穀物輸出国になってきているウクライナの状況が長く続けば、さらに小麦相場が上昇することが懸念される。

### <酒造>

4月分ですが、集計データは3月のものとなっているため、消費税増税前の駆け込み需要で伸びた。来月以降厳しい状況となる。

### <食品団地>

4月においては、原油・原材料の高騰が続き、消費税増税による低価格帯への消費シフトと厳しい状況が続いた。天候も徐々に暖かくなっているため、季節商品も含め来月以降の売上増を期待している。

## 縫製品・同製品製造業

### <ニット>

4月は低調であった。

### <縫製品>

今夏物に関しては、全体的に受注が増加し操業度は上昇し、売上也多少増加傾向にある。今後ともこのような傾向が続くことを望む。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

国産材製材品の市況は3月の消費税増税前の駆け込み需要により、販売量が増えた反動でやや弱含みとなっている。一方原木（丸太）の動きは、例年この時期は需要の端境期であるにも関わらず、県内需要はしっかりし、安定した相場で価格もやや上昇傾向にある。これは、大型工場の設備投資が進み、丸太の受け皿が拡大しているものと考えられる。

### <外材輸入>

消費税増税前の駆け込みによる特需期が終わり、製品出荷量の減少価格も弱含みで推移し収益状況は悪化してきている。

## 紙・紙加工品製造業

### <紙器・段ボール>

アベノミクスにより、日本経済もその効果が感じら

れるようになってまいりましたが、我々中小零細企業にまではまだまだその効果は届いていない状況の中、福島県内紙器業界は原発事故、放射線、風評被害の収束が進んでいない中で経営基盤の弱体化、それに後継者に悩ませられることにより、組合員の減少につながっており組合運営も厳しい局面に達している。4月から消費税増税も今のところスムーズに転嫁している。

## 印刷業

### <印刷>

消費税引き上げの反動が心配でしたが、大きな落ち込みは各社とも見られませんでした。5月以降の反動が心配です。

## 窯業・土石製品製造業

### <陶磁器>

毎年3月までは売上が落ちる。当然4月になれば人が動き始めるので3月に比べれば売上はあげるが前年と比べると同じような数字となる。

### <碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 ± 0
2. 当月売上高の昨年同月比 約15%の減
3. 今年度累計の昨年対比 約15%の減
4. 原因・状況 昨年4月は伊達市発注の除染工事で出荷数量が多かった。現在は主に福島市内の除染工事に納入しております。

### <生コン>

平成26年4月の組合員生コン出荷数量は、148,924㎡と対前年同月比1.4%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比21.3%の増、官公需が14.0%の減であった。

#### ■民需の動向

対前年同月比 21.3%の増

#### ①対前年同月比増加地区

<県北地区> 32.3%の増

工場新・増築工事、量販店新築工事、物流倉庫増築工事等

<白河地区> 3.1%の増

特老ホーム、運送倉庫建設工事等

<いわき地区> 16.4%の増

県漁連冷凍冷蔵施設建設工事、なこそ病院建設工事等

<相双地区> 56.7%の増

原発保安対策工事、広野火発消波ブロック工事、常磐道浪江地区舗装工事等

<会津地区> 67.5%の増

会津中央病院第二期増築工事、会津オリンパス建設工事等

②対前年同月比減少地区

<県中地区> 11.6%の減

南東北研究センター新築工事、郡山商工会議所会館建設工事等

#### ■官公需の動向

対前年同月比 14.0%の減

#### ①対前年同月比増加地区

<県北地区> 14.8%の増

栗子トンネル2期工事、福島高校舎改築工事・飯坂消防署移転新築工事等

<会津地区> 6.9%の増

喜多方市役所新築工事、滝沢浄水場工事、復興公営住宅工事等

②対前年同月比減少地区

<県中地区> 38.6%の減

阿武隈川上流本宮地区樋門築堤工事、復興公営住宅建設工事等

<白河地区> 13.0%の減

白河中央中学校、白河総合運動公園整備工事等

<いわき地区> 7.5%の減

小名浜港追悼地区岸壁復旧、小名浜西防波堤、復興公営住宅建設工事等

<相双地区> 23.7%の減

海岸保全施設整備工事、楢葉等中学校建築工事等

## 鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、新年度に入って新予算に基づき引き合い物件が若干出てきているが、受注、売上への効果は先行き不透明となっている。

## 卸売業

<卸売業>

(県中地区)

3月期においては、消費増税前の駆け込み需要から業種によってはかつてないほどの売上があげたところもあったが、4月以降は増税の影響もあり、落ち込みは否めない。ただし、建築資材を扱う業種の一部からは増税の影響がほとんどなかったという報告もあった。いずれにせよ今後は増税後の反動減をいかにおさえるかがポイントとなる。

<再生資源>

消費増税から1カ月が経過し、小売中心に影響が出てきているようだ。当業界はまだ直接的に影響は出ていないが、物が動かなくなると梱包材等が減少し古紙の原料不足が懸念される。反面、市場は古紙の輸出のピークが過ぎ、国内向けについては4月以降、メーカーも安定的に買い取りをしており、6月くらいまでは需要が堅調と思われる。3月駆け込みで自動車の登録台数は増えたが、円安の影響で廃車はオークションに流れ、国内での処理は減少した。メーカーが本格稼働するゴールデンウィーク明けの市場と物の動きが注目される。

## 小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

今月は、売上高前月比が大幅に減少しました。原因は、消費税増税に係る3月の特需の影響によるものです。本来であれば動く季節商品、五月人形等、売上が3月に繰り上げられれば動かない状況でした。飲食店は、1店舗退店したためその他の飲食店へ客が流れ売上来店客が伸びている。消費税の顧客の反応は、税額の大きさに驚きを感じているようでした。内税のときは、税額が露骨にみえなかったのが外税になり、税金の重さを実感している様子でした。

(県中地区のNショッピングセンター)

消費税アップに伴い、4月売上減少傾向となっている。3月の駆け込み需要に期待したが、その割に売り上げの伸びはなかった。

<石油>

消費税増税により、小売価格も上昇となった。3月末の駆け込み需要が影響し、4月上旬の売上は大幅に減少した。また、元売各社の仕切価格も上昇しており、消費者の買い控えが懸念されている。

<水産物>

消費税8%の影響で、上旬は売上が減少した。また、カツオが高値で数量が少なく、売上に響いている。今後もカツオの不漁が続くと心配だ。

<青果>

4月に入り、消費税増税の影響もあり、思うように品物が動かなかった。3月から続く低温で単価は高騰。

山菜(ふきのとう・コシアブラ・コゴミ)等の放射能による出荷制限や停止により、さらに経営状況は厳しい。桜の開花で観光客は多かったが、さほど売上には影響はなかった。来月は連休もあるが、それほど増加にはならなそうである。

<電機>

駆け込み需要の反動が若干出てきているようです。今後早めの合展なりのアクションが必要だと思えます。5月~6月にかけて個展、合展の計画のところが多くあります。

<自動車>

消費税8%になったため、4月は来場者がまったくなく、販売台数は前年より6割くらい減少した。

## 商店街

<福島市>

4月前半は、増税後の様子見のような感じで全体的に静かでしたが、中旬以降は天候にも恵まれ、桜も満開、花見山がピークを迎え、県外からの観光客が多く訪れました。それが経済効果に結びついていないのが悩みどころではあるのですが、ともあれ、4月の福島市は花見山に尽きます。賑やかなのはいいことです。

<郡山市>

4月の商店街は客数・売上とも前年を下回り、商店街駐車場は定期券収入が増加になり横ばいだったが、駐車場売上は商店街と同じく前年比減少だった。しかし、減少幅は予想より少なく、消費税増税前の駆け込み需要の反動は歯止めがかかりつつあるように思われます。5月には、百貨店や商店街でお客様を呼び込める大きな催事があるので、ここで集客が増えて買い物指数がもとに戻れば、今後の売上に増加が見込めるようになるので、そうなることを期待しています。

<南相馬市>

春の歩行者天国実施。当組合では、「がんばる商店街30選」受賞記念として、投げもち、まき銭、まき菓子、フワフワスライダーを行い、大勢の子どもたちの歓声で大賑わい。原発被害から3年、しばらくぶりです子供たちをたくさん町に集めることができました。

<会津若松市>

増税の影響で客足が鈍く売上が悪かった。恒例だった「さくら祭り」が諸事情により開催が見送られて残念でした。ゴールデンウィーク前半は飛び石連休にもかかわらず観光客は多かった。

<いわき市>

消費税のアップから、4月中盤までは3月の反動が大きく厳しい様子だったが、GW前のお買いものはまあまあといったところ。しかし前半のマイナスを取り戻せず、4月のGWもそれほどいうかかえて商店街にはプラスとなっていない。特に震災後GWにイベントを催すことがなくなったので、目的を持ったお客様が来店、来街されているぐらいで物販にとっては厳しい4月となった。飲食店は歓迎会・花見なども含め、好調を維持。

## サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

ふくしまブレイクステーションキャンペーンにより、春の観光シーズンに向け、福島県全体で盛り上がっている。一方、消費税のアップにより、観光客の消費面では、3月と比べて落ち込んでいるものもある。(例えばお土産品など) 少額商品は、今回の消費税アップの3%を転嫁できないものもあり、次回10%へ値上げが実行されるとなった時点で転嫁せざるを得ない。

<理容業>

桜も咲き陽気も良くなり、出かける機会も多くなり

身だしなみも気になる季節になったが全般的に暇だった。消費税値上げの影響も少しはあるのではないだろうか。世の中のムードに左右されるサービス業なので景気が良くなるようなニュースをどんどん発信してほしい。この厳しさをチャンスと捉え、新たな発想で消費者に支持される業界の構築に頑張ろうと思います。

<廃棄物収集運搬業>

年度が変わり新年度がスタートしました。消費税のアップによる影響も、一部の事業で3月に駆け込み分がありました。全体的には大きな影響はないようです。

**建設業**

<建設業>

(県一円)

県内は会津・中・浜通りの3地区に大別されるが、震災復旧で建築を除いた土木関連工事は浜通りの沿岸部を除き会津・中通りはほぼ一段落した状況。

(県南地区)

通常の土木工事が前年に比べ減少しているが、住宅を含め民間建築工事が増加している。除染業務は継続して発注されており、作業員・下請けが不足している。除染用フレコンバックなどの資材も不足気味である。

<管工事>

前月比で給水・排水設備申請とも減少した。前年同月比では、給水設備申請が減少し排水設備申請は増加している。

<専門工事>

消費税増税そのものは、それほど大きな影響を与えずに山を越えたのではないかと思われる。一方で、市民感情としては景気浮上への期待感と先行きへの不安感が混在する状態にあり、経営としても舵を切る判断が難しい局面に差し掛かっているようにも感じられる。人材不足については継続状態にある。短期的な人材補てんも必要かもしれないが、もっと長期的な視点で業界全体を考える必要性にも迫られていると思われる。

**運輸業**

<トラック運送>

(県北地区)

消費税アップに伴う平成26年3月までの駆け込み需要により、4月5月の売上は減少する。燃料費、高速料金値上げにより収益環境は悪化している。

(県中地区)

駆け込み需要の反動で、全体的な動きが悪くなることが予想されたが、それほど変化はなかったようです。

<ハイヤータクシー>

消費税転嫁による運賃改定があったことで、前年比は不変となるも前月比減となったことは乗り控えがあったと思われる。

**県政ピックアップ**

2014. 6

募集

**「中小企業等復旧・復興支援事業」補助金**

東日本大震災及び原子力発電所事故により被害を受けた県内中小企業者等の皆様に、事業再開に必要な経費の一部を補助する制度です。

◆受付期間

平成26年6月2日(月)～平成26年7月15日(火)

◆対象者

- ① 原子力発電所事故に伴う避難指示区域等に工場・店舗等があった中小企業者等
- ② 津波により被災し、区画整理事業等が遅れ未だ移転できない中小企業者等
- ③ 東日本大震災などにより自ら所有する工場・店舗等が「半壊以上」の被害を受け、未だ赤字の中小企業者等

○空き工場・空き店舗等による事業再開支援事業

・補助率

- ① 3 / 4 以内
- ② 3 / 4、1 / 2 以内
- ③ 1 / 3 以内

○工場・店舗等再生支援事業

・補助率 1 / 3 以内

◆問い合わせ先

県庁企業立地課 ☎ 024 (521) 7280

HP

福島県 中小企業等

検索